

事務事業名		出納事務					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	会計管理者	担当課	会計課
	政策	2 自立した行政経営によるまちづくり						新規事業・継続事業	担当係	出納係	担当課長名	飯塚 昭宏
	施策	2 持続可能な財政運営の推進						実施計画事業・一般事業				
	基本事業	3 歳入に見合った歳出構造への転換						市単独事業・国県補助事業	市単独事業			
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名						
	1092	一般	2	1	5	出納事務						
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	年度～ 年度		根拠法令 条例等	地方自治法 佐野市財務規則		実施方法	直営			
							事業分類	その他内部事務事業				
							リーディングプロジェクト	該当なし				
							市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)								
収納及び支払業務を適正に処理し、日計表を作成する。また、歳計現金及び歳入歳出外現金の保有状況と資金計画に基づき、公金の適正な管理運用を図る。			・収入金の件数と金額を確認し、収入の消込作業を行った。 ・債権者(市民、業者等)へ適正・迅速な支払をした。振込不能を減らすため正確な債権者登録のシートの提出依頼及び登録を行った。 ・収入支出日計表を作成し、歳計現金等は流動性を考慮し、より安全かつ有利な金融機関に保管した。 ・各課から収入支出計画書を徴し、適正な資金管理を行った。								
活動指標			単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)			
歳入総額			千円	77,381,232	87,351,664	78,460,200					
歳出総額			千円	73,627,242	81,132,366	78,460,200					
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
収入伝票、支出伝票、公金			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)		
収入原符処理件数			件	1,303,084	1,288,958	1,300,000					
支払証拠書処理件数			件	49,738	50,812	49,600					
歳計現金運用額			千円	1,499,776	1,499,931	1,300,000					
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
収入、支出状況の的確な把握、調整及び債権者に正確かつ効率的な支払を行う。 収入支出計画書に基づき、最も確実有利な方法で適正に運用し利益を図る。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
計画書提出割合			%	95	95	95					
振込不能件数			件	591	794	570					
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)											
健全財政が維持されている。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)		
一般会計予算における財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合			%	-	16.1	10.0	10.0	10.0	10.0		
一般会計市債残高の一般会計予算規模に対する割合			%	-	89.5	100.0	100.0	100.0	100.0		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)					
	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円	112	113	96							
	一般財源	千円	2,589	2,004	1,802							
	事業費計(A)	千円	2,701	2,117	1,898	0	0					
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			共済費	177	共済費	89	旅費	8				
			賃金	1,188	賃金	612	消耗品費	117				
消耗品費			122	消耗品費	104	印刷製本費	615					
印刷製本費			421	印刷製本費	311	通信運搬費	48					
通信運搬費			36	通信運搬費・手数料	549	手数料	808					
手数料			473	公金総合保険料	283	公金総合保険料	282					
公金総合保険料			284	委託料	19	委託料	20					
		備品購入費	37									
人件費	人	4	4	4								
のべ業務時間	時間	5,100	6,160	6,100								
人件費計(B)	千円	19,844	23,969	23,735	0	0						
トータルコスト(A)+(B)	千円	22,545	26,086	25,633	0	0						

事務事業名	出納事務	担当部	会計管理者	担当課	会計課	担当係	出納係
-------	------	-----	-------	-----	-----	-----	-----

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	自治体開始と同時
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	ペイオフ対策を考慮しながら、自治体も自己責任の下で公金を保管しなければならないため、運用先の選定が重要となってきている。また、景気の低迷と金融機関等の利率が年々低下していることにより、運用益の確保が難しくなってきている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	振込不能を減らすため、正確な債権者登録シートの提出、随時払いのデータ作成時のデータ入力 の再確認することを指導した。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	地方自治法に基づくため。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	地方自治法に基づき、行政内部の事務であるため、民間に委ねることはできない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	会計マニュアルを作成したので、経理担当職員及び新規採用職員を対象に説明会を実施し、随時指導していくことにより、職員も理解し正確な伝票作成と枚数及び件数の削減に努めてもらえるので、成果向上が期待できる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	毎日の報告に必要な印刷物等も在庫量を確認しながら発注することで、事務費の削減ができる。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	行政内部の事業であるため受益者は特定されず、負担を求めない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	法定事務であり廃止できない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①まとめ買いまとめ払いの励行により伝票枚数を削減する。 ②口座振込用の口座内容確認と正確な入力をする。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	②	①	維持		×	低下	×	×	
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上	②	①																	
	維持		×																	
	低下	×	×																	